

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-077

補助事業名 平成26年度 難病に関する研究機器の整備 (医療機器の整備) 補助事業

補助事業者名 公益財団法人 がん研究会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

組織レベルの研究 (①機器) と細胞レベル (②機器) の研究を統合的に行い、がん細胞における蛋白質の重要な動態を捉え、新たな分子標的治療の開発に結びつける。

(2) 実施内容 http://www.jfcr.or.jp/donation/pdf/info_jka_h26.pdf

目的を達成するために次の機器が導入された。



等温滴定型カロリーメーター

MicroCal iTC200 1式



迅速マイクロウェーブティッシュプロセッサ

HISTOS5

2 予想される事業実施効果

がん細胞の蛋白質動態とその異常、蛋白質間相互作用の検討により、分子標的薬候補の発見と評価判定が出来る。がんの組織レベルでの蛋白発現異常の頻度を調べるとともに、動物実験や細胞培養実験における機能解析とその評価が推進される。

3 印刷物等

本事業に係る印刷物等

機関紙：がんけん '15 No.2

一、使用目的
がん細胞における分子間の相互作用を知ることは、遺伝子変異や発現異常の役割を明らかにする上で重要です。分子間相互作用の解析する方法は、従来より幾つか存在していますが、等温滴定型カロリメーターは、分子間相互作用に伴う微小な熱変化を検出するユニークな特長を持っています。本研究機器を

- 一、事業総額 二九、六四六、〇〇〇円 (29,646,000円)
- 一、補助金額 一四、八二三、〇〇〇円 (14,823,000円)
- 一、整備機器
基礎的研究機器
- ① 等温滴定型カロリメーター MicroCal ITC 200 一式
- ② 迅速マイクロウェーブティッシュプロセッサー HISTOS5 一式



等温滴定型カロリメーター MicroCal ITC 200 一式



迅速マイクロウェーブティッシュプロセッサー HISTOS 5 一式

この度、平成二十六年補助事業「難病に関する研究機器の整備（医療機器の整備）補助事業」が平成二十六年三月十六日に完了いたしました。
整備された機器は目的に沿って、活用され、機能を発揮しております。

導入する事で、分子を修飾しない、自然な状態での相互作用の測定が可能となり、がん細胞における蛋白質の動態をありのままに捉える事が可能になります。一方、迅速マイクロウェーブティッシュプロセッサーは、がんの組織を、従来より迅速に組織標本とすることが

可能になるので、がん組織内の蛋白検出が高効率・高感度で行うことが出来ます。今回の研究機器導入により、がんにおける蛋白発現異常の効率的検出や治療薬に対する正確な反応評価が得られるので、今後の分子標的薬の開発に有意な研究成果が期待出来ます。

平成二十六年度
公益財団法人JKAによる補助事業の完了

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 がん研究会 (コウエイザイ タンホクジヤンガンケンキュウカイ)

住 所： 〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号

代 表 者： 理事長 草刈 隆郎 (リジチヨウクサカリタカオ)

担 当 部 署： 研究本部 研究管理部 研究管理課 (ケンキュウホンブ ケンキュウカンリブ ケンキュウカンリカ)

担 当 者 名： 研究管理課 課長 川崎 健一 (ケンキュウカンリカ カチヨウ カサキケンイチ)

電 話 番 号： 03-3570-0435

F A X： 03-3570-0436

E - m a i l： kenichi.kawasaki@jfcr.or.jp

U R L： <http://www.jfcr.or.jp/>